

ピアノ演奏グレード2級 受験要項

I 楽曲演奏 計6曲

【自由曲】5曲

ピアノ独奏曲を5曲ご用意ください。5曲のうち4曲は、以下に示すA～Dの4つの群の条件に当てはまる曲を1曲ずつ選曲し、自由選択としてあと1曲、同程度の曲を用意してください。

- ① A群（バロック） J.S.バッハ、F.ヘンデル、D.スカルラッティ等と同時代、もしくはそれ以前の時代に属する作曲家の作品。
- ② B群（古典） J.ハイドン、W.A.モーツァルト、ベートーヴェン、及びこれらと同時代の作曲家の作品。
- ③ C群（ロマン） シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、ショパン、リスト、ブラームス、及びこれらと同時代の作曲家の作品。
- ④ D群（近現代） ドビュッシー、ラヴェル、バルトーク、プロコフィエフ、スクリャービン等と同時代、もしくはそれ以降の時代に属する作曲家の作品。邦人作品も可。
- ⑤自由選択 1曲

<ご注意>

以上いずれも、ソナタ、組曲、小品集など複数の楽曲からできている曲はその中から抜粋して演奏することができますが、曲名欄には何を選んだのか分かるように記入してください。

ただし、J.S.バッハの「平均律クラヴィーア曲集」第一巻、第二巻はプレリュードとフーガの両方で1曲とします。

純粋にメカニズムのための練習曲や、初歩の学習者のために書かれた作品は、自由曲として選曲できません。

【自作曲】1曲

自分で作曲した作品を1曲ご用意ください。曲のスタイル、規模などは自由ですが、2級の演奏曲としてのレベルを考慮してください。また、ごく簡単な民謡、わらべうた等をオリジナリティーのある編曲にしたものは自作曲とすることができます。

例：「ロンドン橋変奏曲」「さくらさくら、によるパラフレーズ」

※上記6曲の演奏時間が、休憩を含めて30分以上40分以内におさまるよう選曲してください。

（曲間に3分間の休憩を1回取ることができます）

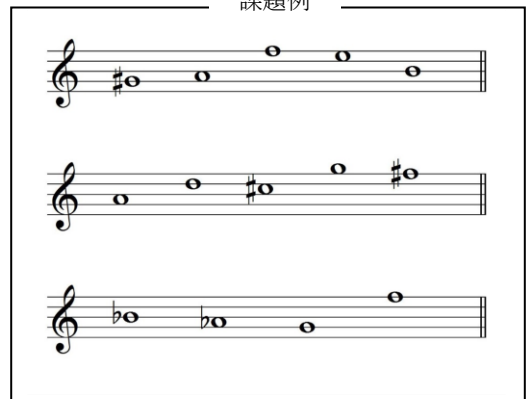
《楽譜について》

- ・自作曲については、申込み受付後に楽譜をPDFファイル形式（A4縦サイズ）で提出いただきます。詳細は申込み受付後にご連絡いたします。
- ・なお、提出楽譜は試験の審査のみに使用します。
- ・自作曲以外の演奏楽譜も試験官へ提示いただくことがありますので、暗譜で演奏する場合も必ず全曲持参してください。

II 即興演奏

- ・4～5個程度の音から成る音列が3通り提示され、そのうち1つを選び、テーマを作って即興演奏します。
- ・演奏スタイルは自由ですが、5分程度の曲にまとめてください。
- ・課題は試験開始前に別室で15分間の予見、及び試弾をすることができます。
- ・五線紙にメモをとり、そのメモを試験会場に持ち込むことができます（試験終了後回収します）。

課題例



III 合否について

楽曲演奏、即興演奏ともに75点以上を満たしていれば合格となります。

(2024年2月)